

2021年 4月 4日《イースター礼拝・誕生祝福式》

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②小山美枝子姉

賛 美 聖歌 168番 ～歌おう声合わせて～

ヤベツの^{いの}祈り

聖書朗読 ヨハネの黙示録^{もくしろうく} 2章^{しょう} 8～11節^{せつ}

特別賛美 ①②香月夫妻／③④I Believe

メッセージ 「9回裏二死2ストライク絶体絶命」

石井 潤 牧師

献^{けん}金^{きん} 聖歌 172番 ～愛と賛美 主イエスに捧げ～

祝^{しゅく} 禱^{とう}

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～平和初めて知った～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★祝ご復活！！今も生きておられる主イエス様を心よりお祝い申し上げます！

☆今週^{こんしゅう}の祈^{いの}り会^{かい}は ○早^{そう}天^{てん}祈^き禱^{とう}会^{かい}：明^{みょう}朝^{ちよう} 6時^じ、◎祈^き禱^{とう}会^{かい}：木^{もく}曜^{よう}午^ご前^{ぜん} 10時^じ半^{はん}、
夜^{よる} 7時^じ半^{はん}（大^{やまと}和^き教^{きよう}会^{かい}の祈^き禱^{とう}会^{かい}に参^{さん}加^か）。○準^{じゅん}備^び祈^き禱^{とう}会^{かい}：土^ど曜^{よう}夜^{よる} 8時^じ。

★来^{らい}週^{しゅう}の日^{にち}曜^{よう}礼^{らい}拝^{はい}では聖^{せい}餐^{さん}式^{しき}が^{おこな}行^いわ^れれ^ます。〈司^{しか}会^{かい}：白^{しら}川^{かわ}兄^{きょう}／祈^き禱^{とう}：石^い井^{せい}兄^{きょう}〉

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan〔4/4ー/11〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	ヨシュア 19-20	21-22	23-24	士師 1-2	3-4	5-6	7-8	9 章
新約	ルカ 8:40-56	9:1-17	:18-36	:37-62	10:1-24	:25-42	11:1-26	:27-54
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇

「9回裏二死2ストライク絶体絶命」

～大いなるピンチでも決して希望はなくなるらない！～

¹⁰あなたが受けようとしている苦しみを少しも恐れてはいけない〈あなたの驚きと恐れを払いのけなさい〉。見なさい、悪魔はほんとうに、あなたたちがためされる〈試験される 批判的に評価される〉ように、あなたたちのうちのある者を今まさに獄に投げ入れようとしている。あなたたちは十日の間苦難を受ける。死に至るまで〈すなわち、たとえそのために死ななければならぬとしても〉忠実に真実を保ちなさい。そうすれば、私はあなたにいのちの栄冠を与える。」〔詳訳聖書〕

最近よく分かってきたことがあります。クリスチャンになると、戦いが起こって来るということです。なぜなら、この世に流されて生きてきた人間が、クリスチャンになると、この世に抵抗して生きていくことになるので、当然戦いは起って来るからです。滅んでしまっても良いのなら、そのまま流れるままで良いのかもしれませんが、私たちはいのちへと導かれていますから、その世界への抵抗は半端ないのかもしれませんが、しかし、主は戦うことを願っています。戦って勝利することを願っています。しかし、その戦い方もきちんと教えてくださっています。恐れのない戦いです。なぜなら、すでに勝利されたお方が共におられるからです。そのお方が私たちを完全に勝利に導いてくださるからです。

この教会にも何人か若者たちがいますが、そのこれからの若者たち、子どもたちに私たちは決して希望と期待に満ちた世の中を提供できているとはいえません。しかし、信仰と言う目を持って見ていく時に、そこには素晴らしい希望と夢に満ちた永遠のいのちへ至る道を提供しているのです。そのことを示していくためにも、私たち自身が信仰の目によってしっかりと恐るべきお方である主を見上げ、期待と希望を持って生きている姿を見せて行かなければなりません。このコロナという困難の中だからこそ、その姿を見せてあげられると信じています。

このスミルナの教会は豊かな地に生かされていましたが、真実な信仰を守り通すために大いなる苦難と忍耐の道を通していました。しかし、それこそが真に豊かな生き方なのだと主は称賛しています。自分にとって生涯安定した生き方を求めることも素晴らしいかもしれませんが、何よりも、自分が一体何のために生きているのか？という明確な使命感を持って人生を生きていくことの方が、より輝いた輝きに満ちた人生ではないかと思うのです。その使命は神様から与えられるものです。あなたにしかできない、果たせない使命が必ずあります。主と共に歩む道がそれです。

私が大学3年の1月17日に「阪神淡路大震災」が起きました。将来を祈っていた時期でしたので、私の心も揺り動かされました。今が立ち上がる時だ！主にこの身を捧げるのだ！断食祈禱院にも泊まり込みで祈りました。そして、主が私の心をつかみ続けてくださいました。あなたの人生も主がつかみ続けておられます。主のご復活の力があられますように！